

KGA ニュース '84 夏季号



目次

幻のエージシュート..... 1	松本 重男	評判コース見て歩き記..... 15	杉山 通数
'84関東アマチュア選手権競技..... 2		昭和59年度競技規定・要項..... 18	
'84関東女子ゴルフ選手権..... 6		理事会・委員会..... 22	
ルール Q & A..... 9	日本ゴルフ協会、規則委員会判例	月例成績表(昭和59年4月)・お知らせ..... 24	

まほろし

幻のエージシュート



相模カンツリー倶楽部

理事長 松本 重男

18ホールでないからエージシュートは成り立たないと即座に決め付けられ、結局そのままお流れになってしまいました。ところが後日、その時一緒にプレイした友人の一人が偶々週刊「バーゴルフ」の『読者の質問箱』に投稿して、この場合エージシュートにならないかと問合せたものです。後日同誌に出た回答は多分金井清一プロが担当したものと想像されますが、難しい問題なので日本ゴルフ協会に問い合わせたところという前提で「エージシュートについて細かく定義したものはないのです。前半のアウト、インで87、後半のイン、アウトで79、インからまわってアウトに行くと18ホール、アウトからインの18ホール何れも認められます。アウトから出なければならぬということはありません。しかしこの方の場合は、27ホールまわってベスト2つのハーフスコアーをとっているのが問題があり、エージシュートとは認め難い気がします」とのことでした。この見解中ベスト2つのハーフスコアーをとっているのとありますが、例えばアウト、イン、インをプレイして、アウトと後の方のインをとったのならベスト2つを選び取ったのですが、私の場合アウト、イン、アウトをプレイして連続したイン、アウトをとるので多少意味は違うと思うのですが、もしもエージシュートだと判断されると、今からでも思はぬ出費につながりかねない恐れもありますので判断には従って、改めて文句のつかないエージシュートの達成を目標に今後も精進することに致しました。

ちなみについて先日5月6日にも久瀬カントリークラブで82が出ましたが、満82才には未だ1年2ヶ月ありますので、依然2ストロークの壁はどうにもなりません。

ゴルフを楽しむ者誰しも一度はホールインワンをやってみたくて希い、喜寿に近づく頃ともなれば一度はエージシュートをとの夢を持ちます。私もご多分に漏れない一人ですが、昭和6年にゴルフを始めましたので、もう50年余になります但未だにホールインワンは一度も経験したことがありません。併しホールインワンは勿論技術もありますが運も多分に手伝いますから未だこれからでも、いつでもチャンスに恵まれている訳で、いつかはと望みをつないでいます。

さてエージシュートの方ですが、実は昭和48年、それは私が恰も古稀を迎えた年だったので、久瀬カントリークラブでプレイした際、偶々イーストコースを36、ウェストコースを37の計73という私にとっては初めてのベストスコアーでまわり、エージシュートには3ストローク及びみせんでしたが、もう5、6年もすればエージシュートの達成必ずしも不可能ならずとの大望を懐くようになりました。

その後昭和51年、73才の時に那須ゴルフ倶楽部で75を出しましたし、56年78才の時多摩カントリークラブで80を出しましたが、何れも2ストローク及びみせんでエージシュートの壁の厚さをつくづく思い知らされました。

ところが昨年傘寿の誕生日も過ぎた7月の末に那須ゴルフ倶楽部でプレイした際、アウト45、イン42、アウト37でまわりました。ホールアウトした瞬間一緒にプレイした仲間がエージシュート達成と大騒ぎしたのでしたが、一杯をと食堂に入ったら居合せた私の長男等ローハンディキャップの連中から最初の

競技

昭和59年度(第36回) 関東アマチュアゴルフ選手権

●期日 5月24日(木)～26日(土)

●コース 東ノ宮カントリークラブ(おばな・あおいコース) 6,231円、パー72 ●参加者 166名



2年連続優勝にニコリする阪田選手。

ことしの関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技は、希に見る激戦の展開となった。最終日の最後の最後までトップ・グループが入り乱れ、誰かが飛び出して来るのか全く見当もつかない激しいせり合いの連続だった。

朝のうち小雨に見舞われた第1ラウンドは日大ゴルフ部のキャプテン森崎幸司(鳥山城)が快調に飛び出した。出だしのインでは12番でグリーン奥のエッジから約8本のパットを決めて初パーディーを奪ったのをきっかけに2パーディー1ボギーの35、アウトも長打力にものを云わせたロング・ホールの2パーディーを含めて3パーディー2ボギーの35にまとめ、2アンダー・パー70の好スコアでトップ。昨年度の関東アマチュア決勝で優勝の阪田哲男(袖ヶ浦)を最後まで苦しめて2位になった中島和也(矢板)が「どうもショットの調子がもう一つ良くないんです」と自分のゴルフに納得いかない顔つきながら、しぶといねばりのゴルフで1アンダー71で2位。オープン・パー72の3位には田中泰二郎(下野)ら5人が入り、強豪加藤一彦(千葉)が73で8位、二連勝を狙う阪田は3オーバー75をたたいて17位と大きく出遅れた。

2日目の第2ラウンド、初めて大トーナメントでトップの座を占めた森崎は、さすがにその緊張感でスタートから「シビレっ放し」何か何んだかわからないうちに3番ホールでドライバー・ショットを右

に押し出し、2打て出して3打のアプローチをショート、4オンのあげくに3パットとトリプル・ボギーの7をたたいた。しかし「このトリプル・ボギーでシビレから解放されました」という森崎は7番のロング・ホールでは第2打でグリーン右バンカーまでカット飛ばし、そこからのバンカー・ショットをそのままカップ・インさせるイーグルを出し、一気にトップ争いに復帰、この日は2オーバーの74、このラウンドを1オーバーの73でまとめた中島とともにオープン・パーの144で並んだ。

この2人を追い越してトップに進出したのは前日オープン・パーで3位だった奥延通康(茨城)である。白竜湖オープンで昨年、一昨年と連続ベスト・アマをものにしたキャリアの持主、もともとと中国アマチュアで活躍していた選手だが、食品会社東京営業所への転勤で関東アマへの登場となったのである。身長184、体重94kgの巨体からプロの度胆を抜くような長打を飛ばす。この日は366、パー4のやや上り気味の9番ホール、ドライバー・ショットはピンまで残り60のところまで飛ばしている。つまり300は飛んでいる計算である。次はサンドウエッジでピン手前4に付けてパーディーを取るなど、スケールの大きいゴルフで5パーディー4ボギーの71でまわり、通算1アンダー143ストロークでトップを奪った。



東ノ宮カントリー・18番ホールグリーン手前からクラブハウスを見る。

競技



予選を終え明日の決勝ラウンドを迎えるため、競技員立ち合いのもと、ティ・グラウンドの整備。

通算1オーバーの4位には前日3位の田中と、この日を1アンダーの71で前日の9位から追い上げた芹沢大介(日大)の2人がつけ、加藤一彦が3オーバーで6位、阪田は5オーバーの12位と相変わらずエンジンがかからない。

3日目の最終日はことしから第3、第4ラウンドの後半36ホールを一気にこなすことになった。最終日の組合せはトップ・グループの4人がアウトの最終組となり、順次成績順で前に組合わされる。

2位の好位置につけ、初優勝の絶好のチャンスと見られた中島は「一番悪いのは第3ラウンドあたりで爆発させる阪田さんの追い込みですよ」と2組前でプレーする5ストローク差の阪田を一番警戒しながらスタートしていった。

しかし、警戒された阪田はこれも最大のライバル加藤一彦とせり合って第3ラウンドも相変わらずスコアが伸びない。2パーディー3ボギーで73、加藤の方も3番のダブル・ボギーがたたってこれも74、第3ラウンドを終ったところで阪田が通算6オーバー、加藤も5オーバーとともに不発。



決勝2日目15番ショートホールでの阪田のアイアンショット。そばでボールを追う加藤(一)。

ところがトップ・グループも激しいトップ争いからつづし合いの形になった。前日トップだった奥延はアウトをなんとかねばったものの、12番でOBをたたいてダブル・スコアの8、これで緊張の糸が切れてその後3連続ボギーで脱落。かわってアウトを1パーディー1ボギーの36にまとめた中島がトップになったが、この中島もインではショットを乱して1パーディー4ボギー、第3ラウンドを終って見れば同じく3オーバー75でビッタリと喰い下る森崎とともに通算3オーバー・パー、トップは守ったものの、相変わらず1ストローク差を守る田中をはじめ、4位以下との差がちぢまって来た。



予選ラウンドを1アンダーで決勝ラウンドに進出した奥延だったが、4日目12番ホールで左へOB。

最終ラウンド途中途、トップ争いをしてきた中島(和)と田中(泰)は17番ホールでグリーン手前のバンカーへ。2つのボールはビッタリと並び、中島ボールをマーク、結局二人共ボギーとする。

いよいよ大詰の第4ラウンド、中島、森崎、田中のトップ・グループは相変わらず1ストロークを争う接戦を展開した。中島がアウトを2パーディー2ボギーの36でトップを守れば、田中も2パーディー2ボギー、森崎が1パーディー2ボギーの37とともに1ストローク差で喰い下る。

一方の阪田は1番のロングホールで3打を1に50につけてパーディーを取り、いよいよ追撃かと思わせた矢先、2番ではティー・ショットをフェアウェー右のクロス・バンカーのアゴに打ち込み、第2打で出ず、4オン2パットと痛恨のダブル・ボギー、アウトを終って通算は7オーバーとなり、トップと

昭和59年度(第36回) 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者166名 5月24日(木)～26日(土) 於:東ノ宮カントリークラブ (おばな、あおいコース)

の差は4ストローク、ここで阪田の二連勝の夢は断たれたかに見えた。しかし、ベテラン阪田の見返しは違った。「最後のハーフを2アンダーでいけばまだまた勝てる」という冷静な計算だった。こんな計算なら誰でも出来ることだ。問題はこれをやってのけられるかどうかである。

最後のハーフは阪田の計算通りまさに波乱の展開となった。トップを走る3人には終幕が近づくにつれてせり合いの重圧感がのしかかり、スコアも荒れはじめた。

この間を着実に追い上げて来たのが、ともにベテランの阪田と加藤である。それまで阪田を1ストローク離していた加藤が13番で鮮やかにパットを決めてバーディーを出し、一足早く5オーバーと追いつけた。しかし、それも東の間、次の14番では大胆にバンカー越えギリギリのピンを狙った9番アイアンのショットが僅かに短かくバンカーのアゴに突きささり手痛いダブル・ボギーをたたいた。



阪田選手18番ホールのセカンド、ショートアイアン。

一方の阪田は快調になったショットで「とにかくボギーをたたかないよう……」慎重なプレーを続けてチャンスを待つ構え。その我慢が14番で実った。第2打ピッチングウェッジでピンそば50°に寄せて希望のバーディー。17番でも50°につけてまたバーディーをものに、通算5オーバー。この時点で最後のトップ・グループも5オーバーに後退していることを聞き、いよいよ勢いついた。これまでは「最後のハーフを2アンダーで……」という阪田の計算通りの展開である。そして最後の18番、これも第2打でピン手前3に50に

寄せた阪田は「これを入れたら勝てるんだ」と自分に言い聞かせ、そしてこのパットも入れてのけたのである。この計算外のバーディーで4オーバー・パー。

最終日の首位との差6ストロークを見事にはねかえした鮮やかな逆転であり、阪田にとっては二連勝三度目の優勝をものにしたのである。

2位には最後の14番のダブル・ボギーでつまづいた加藤が6オーバーで入り、ショットの不調をカバーして最後までトップ争いを演じた中島はこれも若手の田中とともに7オーバーで3位に後退したが、若い二人にとってこの逆転負けは貴重な経験となったことであろう。



戦い終って表彰式前のひととき談笑する中島和也選手(右)3位、加藤一彦選手(中央)2位、阪田哲男選手(左)



健闘した中島和也と田中(泰)選手。



パーティー風景。

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		第3ラウンド		第4ラウンド		合計		
			O	I	O	I	O	I	O	I			
優勝	阪田哲男	袖ヶ浦	38	37	35	38	36	37	37	33	70	292	
2	加藤一彦	千葉	36	37	33	38	36	34	38	36	74	294	
3	田中泰二郎	下野	35	37	32	39	34	33	37	38	75	295	
4	中島和也	矢板	36	35	31	36	37	33	36	39	75	295	
5	横越栄治郎	相模原	34	38	32	38	40	38	36	36	74	296	
6	森嶋幸司	鹿嶋	35	35	30	37	37	34	38	37	75	296	
7	日暮俊明	博	36	38	34	35	38	33	35	39	74	297	
8	岡田光正	東山	36	39	35	38	36	37	36	38	74	298	
9	小川透	岡部テサン	34	38	32	38	39	37	38	37	75	298	
10	日暮俊明	セントラル	38	39	37	38	35	33	39	40	79	299	
11	松本秀	日大	36	38	34	38	37	35	36	38	74	299	
12	伊沢利光	関東ジュニア	40	36	36	37	33	40	38	39	77	299	
13	下井昌史	日大	40	37	37	40	34	34	39	38	77	300	
14	青山裕之	日大	38	38	36	42	38	30	34	39	73	300	
15	橋田善八	青	38	36	34	35	40	35	38	38	76	300	
16	藤原通康	茨城	38	34	32	36	35	31	38	42	80	300	
17	大友富雄	塩原	37	41	38	39	36	35	39	36	73	301	
18	沢村大介	日大	40	34	34	36	35	31	35	42	77	301	
19	浅川辰彦	武蔵	37	37	34	35	38	33	37	37	74	301	
20	内藤正幸	桜ヶ丘	39	38	37	38	36	34	36	37	74	302	
21	大澤正吾	廣之台	38	37	35	39	37	36	35	40	75	302	
22	大出正義	新千葉	39	37	36	38	36	37	37	34	74	303	
23	龍川晴司	明大	40	38	38	37	37	34	35	40	75	304	
24	中村雅明	日大	40	34	34	37	39	36	37	41	78	304	
25	中野弘治	美善	38	39	37	38	36	37	39	36	73	305	
26	加藤雄二	日大	36	36	32	38	42	30	37	39	76	305	
27	山田勉	東千葉	39	37	36	36	40	35	38	40	78	305	
28	岡原正吾	鎌ヶ谷	36	41	37	38	39	37	36	38	74	306	
29	中村宏行	日体大	39	40	39	39	38	36	38	34	39	36	306
30	加藤栄光	甘波	36	39	35	38	39	38	39	41	80	306	
31	志村幹夫	木更津	37	38	35	32	40	32	38	39	77	306	
32	小暮卓	木更津	39	36	35	40	42	36	39	35	37	307	
33	高安信行	セントラル	43	37	40	38	39	37	36	39	75	307	
34	江原健平	美野原	37	39	36	41	36	37	36	40	76	307	
35	小出一光	袖ヶ浦	39	37	36	40	37	37	39	38	76	307	
36	宮坂夫	沼志野	43	39	42	38	34	32	37	37	74	307	
37	松本隆	南総	36	40	36	41	37	38	38	40	78	308	
38	五十嵐唯郎	東京五市	40	39	39	41	38	39	36	38	74	308	
39	上代修二	中山	36	38	34	39	42	31	41	37	78	308	
40	小池茂	中央国際	39	40	39	38	37	35	39	39	78	309	
41	森島達夫	新原南アツ	38	38	36	39	42	31	36	38	74	309	
42	佐久間義雄	袖ヶ浦	35	43	38	37	37	34	37	38	76	309	
43	田代昌義	新千葉	38	41	39	36	39	35	37	39	76	309	
44	内山健司	青	39	41	40	38	40	37	37	35	72	310	
45	竹林守	青	39	41	40	38	38	36	38	36	74	310	
46	石渡晋	富士平原	36	40	36	40	40	38	39	37	77	310	
47	大山西部	鎌ヶ谷	37	37	34	41	38	39	41	37	78	310	
48	柴田三	東京2より	40	41	35	41	36	37	36	37	73	311	
49	高橋正博	東筑波	37	38	35	37	40	37	35	39	74	311	
50	吉田八郎	府中	37	38	35	40	41	31	38	42	80	311	
51	松井達	皇月・鹿沼	40	37	37	41	37	38	40	38	79	311	
52	原 藤雄	東名厚木	40	39	39	37	39	36	41	39	80	311	
53	得能三郎	橋本	38	38	36	39	40	39	40	38	78	311	
54	龍川茂実	戸塚	37	38	35	37	32	39	40	39	77	311	
55	成田朋正	浜松島岡	39	38	37	37	39	36	37	42	79	312	
56	針谷高之	アジア下宮	37	41	38	37	36	37	39	39	78	312	
57	鹿島田明宏	新千葉	38	39	37	38	39	37	40	38	74	312	
58	高橋俊三	観音	36	42	38	39	37	36	38	34	70	312	
59	鶴岡義久	居	39	38	37	39	39	38	40	38	78	312	
60	室野 歩	パブリックアム	39	36	35	39	41	40	40	40	80	312	
61	斎田安泰	新千葉	40	38	38	41	39	30	37	40	77	312	
62	金沢俊彦	東京国際	36	40	36	38	39	37	39	41	80	312	
63	野上浩一	関東ジュニア	41	40	38	38	36	37	41	78	39	313	
64	室伏健二	東名	39	41	40	36	38	34	38	39	77	313	
65	太田再喜	大相模	40	41	36	38	34	40	44	84	38	314	
66	高橋英明	甘波	38	39	37	39	42	31	36	41	77	314	
67	杉田 勇	GMG王子	38	39	37	38	38	36	43	43	86	314	
68	中村清	水戸	37	40	37	42	38	40	41	38	79	315	
69	河野安男	江戸崎	41	37	38	42	30	41	39	80	39	315	
70	小林勝美	立川国際	40	38	38	39	37	39	38	77	44	315	
71	安岡肇	東京	43	37	40	38	40	38	35	41	76	315	
72	田中伸一	伊勢原	39	41	38	40	39	39	40	41	81	315	
73	森永正隆	武蔵	38	38	36	38	39	37	41	39	80	315	
74	松澤清之	富士	39	38	37	38	42	30	40	41	81	315	
75	水沢純一	袖ヶ浦	39	37	36	42	40	32	39	37	76	315	
76	宮里佐文	飯能	40	39	39	36	37	33	39	41	80	316	
77	大西佑三	桜ヶ丘	37	39	36	39	43	32	39	40	79	316	
78	森 茂男	立川国際	42	41	43	37	39	36	40	40	80	316	
79	佐野義明	富士宮	38	37	35	37	43	30	42	39	81	317	
80	秋山光司	富士平原	38	40	38	39	41	30	39	41	80	317	
81	柴竹正和	日体大	37	41	38	39	42	31	39	40	79	317	
82	井上孝行	大相模	37	42	39	39	41	30	37	38	75	317	
83	竹田哲也	神奈川大	43	41	44	35	40	35	39	41	80	318	
84	佐久間雄二	袖ヶ浦	38	38	36	41	40	31	45	41	86	318	
85	高山 順	香	35	43	38	39	41	30	41	39	80	318	
86	関口幸雄	東ノ宮	37	43	40	40	38	38	38	42	80	318	
87	橋本 恒	府中	39	38	37	40	38	38	43	40	83	318	
88	小山敏男	青	39	38	37	38	41	39	41	39	80	319	
89	中島廣行	東名富士	42	40	42	37	40	37	38	43	81	319	
90	西谷 晃	新千葉	40	40	40	36	40	36	41	40	81	319	
91	島田和夫	川越	39	40	39	41	38	39	42	39	81	319	
92	室野 光	美野原	38	41	39	41	38	39	42	42	84	319	
93	平野 裕	岡部テサン	39	38	37	40	42	32	41	40	81	319	
94	市川一夫	伊香保	39	39	38	41	38	39	42	45	87	319	
95	加藤政義	浅見	39	39	38	38	42	30	46	38	84	319	
96	粕谷修司	那須小川	37	44	31	38	36	76	50	業	業	319	

(以上決勝ラウンド)

昭和59年度(第30回) 関東女子ゴルフ選手権

渡辺恵子、プレー・オフで中島を降す。



初優勝で銀杯を手にVサインで喜びを表わす渡辺恵子(高根)

今年度の関東女子ゴルフ選手権は5月30日、31日、桜ヶ丘カントリークラブで36ホール・ストロークプレーにより行われ、渡辺恵子がプレー・オフの末、中島恵利華を降して初優勝した。

前半の18ホールで70台のスコアを出したものは149名中、11名でトップグループは谷弘恵、中島恵利華、宇津真理子の76、優勝した渡辺恵子は79だった。今年は雪のために各ゴルフ場とも芝の育成に被害を受け、フェアウェイの傷みが目立つ。桜ヶ丘CCの場合もコンディションづくりには意をはらったものの、雪害にはかかず、各選手ともむずかしいライからのショットを強いられたようだ。そうしたなかで70台のスコアをマークした選手が11名もいたのは、技術的レベルが向上したことを裏づける。

5,903メートル、パー75。レディースにとっては距離もあり、起伏にも富んだコースなのでアンダーパーで回ることは、至難のように思われた。

そうした状況のなかで、優勝候補の筆頭で過去3連勝している中島恵利華が初日1オーバーの76で回り、4連勝に“王手”をかけたかにみえた。ところが、中島に遅れること3ストロークの79で初日を終った渡辺恵子が、2日目のアウト(パー37)で35をマーク、同じアウトを38で回った中島と、インの9ホールを残して首位にならんだ。

渡辺は今年で関東女子6回目の出場で、昨年5位、一昨年3位に入っている。中学、高校時代にはソフトボールの選手で、主にピッチャーをやっていたと

いう。なかなかの長打者だ。たとえば2日目の6番、374メートルのロングホールではアイアンでグリーンオーバーさせ、返しのアプローチを直接チップインさせるイーグルを出したほどだった。

インに入ってから、中島と渡辺、ふたりのマッチレースになった。渡辺は10、15番ホール、中島は12、18番ホールでバーディーを出し、パー38のインとともに36の2アンダーでクリアした。圧巻は両者の18番ホールのプレーだった。

「キャディさん、どこらへんへいくとOBでしたかネ」
18番ティにあがった渡辺は、初優勝を前に多少ふるえているようだった。18番は431メートルのロングホールで、左右ともにOB。ティショットの狙いどころが狭い。万一、OBを出せば、後続で回っている中島に逆転される。(この時点で、渡辺は通算イーブンパー、中島は1オーバー)

「よーし、景気よくいっちゃおう！」
ドライバーとフェアウェイウッドとロングアイアン、3本のクラブを持ってティに上った渡辺は、自分自身を叱咤するように、そう言ってから、ドライバーをえらんだ。

「そうよ、思い切り振っちゃいましょうよ」
同伴競技者の吉沢キミ子が、まるで自分が優勝争いをしてるかのよう、ポツリとひとり言をいう。渡辺のティショットは、これ以上ないという好位置、フェアウェイの左サイドへ飛んだ。安堵の胸をなでおろす表情。が、セカンドがいけなかった。グリーン



表彰式のパーティーで仲良く並んだ右から優勝の渡辺恵子(高根)、2位中島恵利華(矢板)、3位谷弘恵(藤岡)

左側のひらけたこへ(安全に刻むつもりで4番アイアンで打ったのだが、それが「安全すぎて左へ行ってしまった」のである。左のコーライグリーンをガードする手前のバンカーに入ってしまった。グリーンまで70メートル近くある。しかも、ピンを狙うにはバンカー越え。つまり、バンカーからバンカー越えのショットをする破目になった。そのピッチングウェッジによるバンカーショットは、クリアするべきグリーンバンカーは辛うじて越えたものの、グリーンへはとどかない。ラフの中だ。ピンハイ、2メートル弱に寄せる。むずかしいパットが残った。
「でも、このラウンド、ひとつもボギーを出さなかったし、このくらいの距離のパットもよく入っていたので……」

“入るような気がした”という。たっぷり時間をかけてラインを読み切って入れた。パーである。このラウンド、実に4アンダーの71、通算150のパープレーで競技を終えた。

渡辺の組より2組あとでプレーする中島は先行組がグリーンを終るのをフェアウェイで待機していた。ツーオンを狙う気なのだ。バーディーなら並ぶ、イーグルなら逆転する。パーでは勝ちがない。この場面は、当事者ならずとも緊張感がヒシヒシと伝わってきた。ゴルフならではのスリルとサスペンスがあって、グリーンサイドに陣取ったギャラリイを興奮させた。

中島のセカンドはいい当りだった。が、距離が足りなかった。グリーン手前のバンカーに入る。
「バーディーとるさや、ないんだもの。必死で打ちましたよ」

そのバンカーショットも見事だった。ピンの手前2メートル余りに寄せる。
「入れるさや、ないんだもの。必死に狙いましたよ」

それが入ってバーディー。両者、150でタイ。7番からサドンデスのプレー・オフで決着をつけることになった。このホールは両者パーで分れる。勝敗が決ったのは8番(312メートル)だった。中島がフェアウェイ中央へ、220メートル以上は飛ばしたのに対し、渡辺はテンプラ気味のひっかけボールで隣のホールのフェアウェイまで曲げてしまった。幸いグリーンへはオープンになっていた。レディースとは思えないようなパンチショット(「9番アイアンのハーフショ



決勝2日目。ダウン場18ホール、バンカーからの寄せで、ワンパットでプレー・オフに持込む。

ット」と、渡辺自身は言う)で、ピン右4メートルに乗せた。ピンチを脱す。

中島はサンドウェッジでセカンドを打つ。これも見事なショットだった。ピンに向かって高々と、しかも真直ぐに舞い上った。ピンの上、3メートルほどに止る。パット戦になる。まず、渡辺が打つ。ほとんどストレートのラインを見事に入れる。バーディー。つづいて中島が打つ。

「見た目にはフックラインだったけど、ストレートだと思って真直ぐ打った」

のだが、カップ手前はほんの20センチあたりのところで、ボールは右に切れた。カップの右フチで止ったボールは頑迷にもカップインを拒んで、グリーンをとり囲んだギャラリイの嘆息を誘う。中島、無念のパー。

「わたしのゴルフも最高によかったけど、渡辺さんはそれを上回ったのよ。4連勝は出来なかったですが、勉強になる試合でした」

と、中島は言う。そして、渡辺は、

「恵利華ちゃんには負けると思って、気楽にやったのがよかったんでしょう」

と、破顔一笑する。高根CCのハンディ9。ゴルフを始めて8年目の優勝である。

競技

昭和59年度(第30回) 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 149名 5月30日(水)・31日(木) 於:桜ヶ丘カントリークラブ

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
1	渡辺恵子	高 槻	40	39	39	36	150
2	中島典理子	失 伝	38	38	38	36	150
3	岩 弘 恵	藤 岡	40	36	39	39	154
4	吉沢キミ子	セントラル	38	40	38	40	156
5	田中成美子	成 城 大	41	42	83	37	157
6	尾間久江	武 蔵	41	38	79	40	158
7	宮藤美樹	甘 藷	43	43	86	37	159
7	近藤信子	富士ロイヤル	36	45	81	39	159
9	轟多美子	茶ヶ 崎	40	39	79	41	159
10	塚井美保	OMO八王子	41	41	82	40	160
10	嶋田万里子	千曲高専	38	42	80	39	160
12	中田朱美	袖ヶ 浦	40	38	78	42	160
13	高橋良江	東京国際	38	40	78	40	161
13	藤原光葉	鳥 山 城	40	37	77	41	161
15	小笠原みさ子	聖 心 大	44	40	84	40	163
15	植股美恵子	上 総 富 士	42	42	84	42	163
15	藤 保 順 子	稲 葉 橋	42	39	81	41	163
18	村田トシ子	日 体 大	43	40	83	38	164
18	加藤静美	平塚富士見	41	42	83	42	164
18	金田正子	成 城 大	40	41	81	39	164
18	鈴木エツ	大 妻 野	42	38	80	43	164
23	山崎千佳代	日 体 大	43	41	84	41	165
23	新田佐苗子	藤 岡 高	38	43	81	41	165
23	轟井キヨ子	府 中	40	41	81	42	165
23	菊地恵美子	宇都 宮	40	38	78	43	165
27	中野 晶	学習院大	44	41	85	40	165
27	平津真理子	横浜学院	39	37	76	45	167
29	菅谷明子	富士ササン	42	44	86	43	168
29	高橋知子	日 体 大	40	41	81	42	168
31	正木美子	立川国際	39	45	84	42	169
31	永沢利永子	入 間 中	44	40	84	41	169
31	二宮クワウ	府 中	40	41	81	44	169
34	宮前慶子	伊 勢 勢	45	43	88	41	172
34	石井羽留子	桜ヶ 丘	44	43	87	41	172
34	田中千枝子	日 高 高	41	45	86	42	170
34	長岡洋子	千曲高専	45	41	86	41	170
34	木村敏美	ジュニア	42	42	84	41	170
34	甘藤禮子	東 千 葉	44	40	84	42	170
34	三木恵美子	富 士 土	47	42	89	38	170
41	梅村朋恵	専 修 大	44	44	88	41	171
41	森 美 代	慶 之 台	44	43	87	41	171
41	太田由紀枝	千葉誠英	45	42	87	41	171
41	田村千代子	鎌 ヶ 谷	45	41	86	42	171
41	遠藤智子	戸 塚	44	42	86	41	171
47	赤澤菜穂子	慶 応 大	42	38	80	44	171
47	田辺アキ	駿 河 大	44	43	87	43	172
47	自給菜穂子	江 戸 崎	44	41	85	44	172
47	杉田千多歌	OMO八王子	42	41	83	43	172
47	石川淑子	源 氏 山	41	41	82	46	172
51	飯田俊江	成 城 大	45	43	88	42	173
51	田中真理子	東 京 大	43	44	87	43	173
51	大久保清子	川 越 大	42	43	85	45	173
51	櫻沢貞子	東 千 葉	42	41	83	46	173
51	中山芳起子	大 利 根	42	47	89	43	173
51	加藤信子	大 利 根	43	46	89	42	173
57	大竹朱美	高 塚 高	46	41	87	43	174
57	野崎裕子	東京国際	45	43	88	44	174
57	竹内節子	富 士 土	49	44	93	41	174
57	谷口典江	河 口 湖	44	40	84	43	174
57	内田トシ子	観 音 堂	41	42	83	48	174
57	許斐順子	箱 根 高	42	47	89	39	174
63	和田セツ子	中 山 大	42	44	86	45	175
63	大久保とも	水 戸 大	40	44	84	47	175
63	小野田みどり	大 妻 野	40	44	84	48	175
63	武田久子	常 葉 大	46	46	92	41	175
63	尾崎智子	ジュニア	46	44	90	41	175
63	森 康 子	東 名 厚 木	42	46	88	43	175
63	田辺和江	東 名 厚 木	43	45	88	45	175
70	佐藤節子	日 大	47	41	88	44	176
70	清水厚子	大 妻 野	43	43	86	44	177
71	横山洋子	大 妻 野	43	43	86	46	177
71	富沢敦子	武 蔵 大	41	45	86	43	177
71	林裕美子	大 利 根	47	46	93	41	177

順位	氏名	クラブ	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
			アウト	イン	アウト	イン	
71	菅原美子	鎌 ヶ 谷	45	45	90	43	177
71	紀村多栄	富士平原	42	48	90	41	177
71	黒沼カホル	鳥 山 城	45	44	89	44	177
78	山崎満江	相 武 大	43	45	88	42	178
78	加藤知子	伊 勢 勢	44	43	87	45	178
78	菊地美枝子	大 塚 大	46	40	86	49	178
78	星見美子	藤 ヶ 谷	45	44	89	44	178
78	小田幸子	袖ヶ 浦	43	45	88	46	178
84	柴野はるみ	武 蔵 大	44	44	88	45	179
84	三井依子	富 士 土	44	43	87	47	179
84	高井美子	中 山 大	44	42	86	47	179
84	村山恵美子	関原テラス	49	43	93	45	179
84	青木英子	稲 葉 橋	49	43	92	43	179
84	佐川治子	東京国際	45	46	91	44	179
84	佐々木節子	鳥 山 城	44	45	89	48	179
91	荒山節子	鳥 山 城	46	42	88	42	180
91	石田雅子	富士平原	41	46	87	47	180
91	尾本幹子	東京みどり	48	48	96	42	180
91	山崎みどり	日 高 高	46	47	93	44	180
91	富永裕子	昭 和 大	46	45	91	44	180
91	山本明子	新 千 葉	45	45	90	45	180
91	豊田昭子	美 濃 大	46	46	90	43	180
91	森脇美子	南 富 士	45	44	89	47	180
99	小林明子	鳥 山 城	45	42	87	46	181
99	宮崎和子	昭 和 新 日 本	45	42	87	46	181
99	宮賀八重子	大船海防隊	46	48	94	44	181
99	山本吉子	日 立 立	44	43	91	44	181
99	尾家めぐみ	日 大	44	44	88	46	181
104	小出義子	千 葉 国 際	47	47	94	44	182
105	和気徳江	東京五都市	47	47	94	41	183
105	高橋千津子	慶 応 大	43	51	94	43	183
105	時岡美恵子	津 南 大	44	41	85	44	183
105	渡辺登子	青 津 島	47	46	93	46	183
105	長谷川江	稲 葉 橋	46	46	92	45	183
105	田沼ミツ	富 士 土	44	46	90	46	183
112	高橋妙子	関原テラス	47	46	93	44	184
112	池田秋子	総 成 大	48	44	92	45	184
112	宮沢ゆゆ美	八 幡 大	47	43	90	49	184
115	三枝文子	武 蔵 野	48	48	96	42	185
115	松井俊子	千葉誠英	48	48	96	43	185
115	大木広子	桜ヶ 丘	45	48	93	49	185
115	手塚雅子	藤 ヶ 谷	45	48	93	46	185
119	三上 榮	鎌 倉 高	48	44	92	48	186
121	望月佳代	専 修 大	53	43	96	49	187
121	菅野尚子	鳥 山 城	45	50	95	47	187
121	大槻清子	立川国際	46	48	94	48	187
121	仁科敏枝	鹿 野 大	48	45	93	45	187
121	塚本マキ	新 千 葉	44	48	92	46	187
121	神ノ口千恵子	太 陽 高	44	46	90	50	187
128	杉田則子	相 模 野	45	50	95	47	188
128	藤本美子	大 塚 大	47	49	96	45	188
128	馬場真佐子	美 濃 大	49	45	94	48	188
128	西村光子	相 模 野	49	45	94	48	188
128	東郷静子	藤 ヶ 谷	45	44	89	54	189
133	松原豊子	総 成 大	49	48	97	47	189
133	大野和一子	相 武 大	46	47	93	48	189
135	白川一子	あきひつヶ丘	45	49	94	48	189
136	中村トク子	東 千 葉	45	53	98	44	190
138	浅見アミ	立川国際	48	47	95	47	191
138	平沢八重子	東 名 厚 木	51	52	103	45	192
138	細川恵子	東京五都市	44	53	97	48	192
138	宮崎洋子	ノーザン・ブレイズ	50	47	97	47	192
141	中野敏子	東 名 厚 木	50	51	101	44	194
141	三村とも子	松 本 大	49	50	99	48	195
143	山本いく子	新 千 葉	51	47	98	48	195
143	山田とき子	橋 本 大	45	44	89	59	196
145	森原京子	平塚富士見	48	49	97	51	196
146	日納裕子	鶴 岡 高	47	51	98	53	199
148	福澤由紀	幸 城 国 際	49	48	97	50	198
148	江崎三美	佐 倉 高	50	49	99	53	200
148	中沢妙子	鎌 ヶ 谷	52	46	98	失 格	

ルール Q&A

日本ゴルフ協会、規則委員会判例

第6条プレーヤー Q-1 6-2 ハンディキャップ

本項において、マッチプレーは相手に告げるハンディキャップが認められたハンディキャップより、多いか、少ないかに依り失格、或いは不利な条件下での競技となる。ストローク・プレーは、ハンディキャップが記載してない、又は記入してあるハンディキャップが認められたハンディキャップより多いか、少ないかに依ってマッチ・プレー同様の罰が課せられる。

当クラブに於けるアンダーハンディキャップのストローク・プレーに於いては、その競技への出場申込を、スタートホールに備え付けた競技者名簿に署名することに依って行っており、且つその際同時に記入した競技者のハンディキャップをチェックし、誤りは訂正しております。

規則6-2-b項中には「もしスコアカードを提出する前に、自己のスコア・カードにハンディキャップが記載されていないか、又は記入されたハンディキャップがプレーヤーが認められているよりも多い場合は、プレーヤーはそのハンディキャップ競技から失格とされる……云々」とあり、スコア・カードの提出前に既に罰が課せられる様に規定されております。

従って当クラブで採用している競技申込の方式では署名簿に記入した後、第一打をプレーした時点で、若し記入してあるハンディキャップが誤りであったならば課罰の対象となるでしょうか。ご教示願います。又署名簿にハンディキャップ欄を設けてなければ記入の要もないので、課罰のおそれは無いがスコア・カードの提出前にスコア・カードにハンディキャップが記入してあるのか記入されたハンディキャップが認められたハンディキャップより多いのか少ないのか、委員はどの様にして判断、確認するのかご教示願います。

スコア・カードに記入された数か問題となる、スコアについての規則6-6-cスコアの変更禁止の項には「競技者が委員に提出した後はカード上の変更は許されない。もし競技者が1ホールの真実の打数よりも少ないスコアを提出した場合は……云々」とあり、明らかにスコア・カードを委員に提出した時点で課罰発生の境界線となっております。

今回のこの改訂に依るスコア・カード提出前とはどの事点を指しているのか併せてご教示願います。

A-1

規則6-2の前半は競技者に対し、自己のスコア・カードに正しいハンディキャップが記載されているか否かの確認を義務づけている。後半はこの義務を怠った場合の具体例を述べている。もし競技者がこの義務を怠って自己のスコア・カードにハンディキャップが記載されていないかあるいは認められたハンディキャップより多いものが記載されていることの確認を怠っていると、規則6-6cで定めているが如く委員に提出後はカード上の変更は許されないで失格となることの告発である。別の例にたとえれば、手紙を投函する前に郵便切手(有無または金額)を確認することと同様である。貴クラブにおいては競技者か競技者名簿に署名すると同時に記入されたハンディキャップをチェックしているとのことであるが、その時点で競技者は自己のハンディキャップに誤りがあれば気付く筈であるので、スコア・カード上のハンディキャップに間違いは起こらないと思われる。

Q-2 20条球の捨上げ、ドロップおよびプレー。誤所からのプレー

20-1 球の拾い上げ

本項中段の「球のリプレースを要求している規則に従って拾い上げるときは、事前にその球の位置をマークしておかなければならない……云々」とあり、従来のグリーン上のみであった拾い上げた球の位置のマークが、スルー・ザ・グリーンにも及ぼされた訳ですが、リプレースとプレースの誤解が招く誤りから、或いはテレビ放映の影響から規則に依って拾い上げて、定められた地点にドロップする様な場面で球をマークしてから定められた地点にドロップしていたり、しなくてはならないと思込んでいるプレーヤーが多くあります。この種の処置について日本ゴルフ協会に於いては、明確な見解及び適切な処置方法を発表す可きであり、ゴルファーもまたそれを希望していると思ひます。ご回答下さい。

より別の球と取り替えることを許しているのでしょうか？

特に、アンプレアブル、ウォーター・ハザード、O・Bで球が自分の球と確認できる場合でも旧規則では21条1により別の球と取り替えることができませんでした(JGA裁定1980-6) 今後はどのように扱われますか。

A-13 旧規則21-1「通則」中、「プレーヤーは紛失、アウト・オブ・ボウンス…を除いてティからプレーした球でホール・アウトしなければならぬ」とあるのは、1964年の改正時に英文からは取り除かれたが、the ballとa ballの区別を端的に日本語に表現するのが無理なので、解り易いように残しておいた。今年度は全文新規に訳したので英文そのままとなってしまった。これは残すべきであったので挿入しなければならない。

Q-14 適合ゴルフ・ボール表について
新規則の5条1により、本年度から、付属規則111に示す規格に適合した球でなければ使用できなくなり、その反則は競技失格となります。このテスト結果は適合ゴルフ・ボール表に記載されていますから、この表で照合すればよいのですが、この表が効力を発するのはいつからでしょうか。R & AとUSGAの表には日付が入っていますが、郵送の時間があり各加盟クラブに届くまでには少なくとも10日以上を有するものと思われま。日本ゴルフ協会が英米とは別に郵送の時間をみて設定されるのでしょうか。そうでないクラブで使用する表が異なることとなります。

A-14 適格球一覧表の適用は通常年2回変更を予定されているが、新旧一覧表の適用区分は、特に必要があれば規則5-1注(2)に従ってその競技を管理する委員会が処理すればよいと思われる。

Q-15 定義13. 携帯品
携帯品とは、プレーヤーがプレーしたすべての球を除いて、使用、着用または携帯したすべての物および球の位置をマークしたり、または球を

ドロップする区域の範囲をマークするときに使用する硬貨やティ・ベッグのような小さなものまでいう。この文章では、マークに使用する硬貨やティ・ベッグは携帯品ということになりますが、プレーした球とコインやティのような小さなものは携帯品から除かれるのではないのでしょうか。

もし、マークするときに使用するコインまで携帯品であるとすると、フォアボールの競技でパートナーが球を拾い上げるときにマークに使用した硬貨にプレーヤーの球が当たった場合、そのプレーヤーは規則19-2aまたはbにより、そのホールの失格または2打の罰が課せられる。球に当たらないようにマークしたのに、そのマークに当たって罰を課せられるということが理解できません。

旧規則の定義にはマークに使用する小さなものの記載はありませんが、判例(USGA76-29、59-10)で携帯品ではないと裁定しています。

この裁定が、新規則の定義13(携帯品)に記載されたのではないのでしょうか？

A-15 御指摘の如く、和訳の表現に誤記があり、下記の文意に書き換えが必要である。
「携帯品とはプレーヤーが、またはプレーヤーのために使用、着用または携帯したすべての物をいう。ただし、プレーヤーがプレーに使用中のすべての球及び球の位置または球をドロップする区域の範囲をマークするために使用したときのコインやティ・ベッグのような小さな物は含まれない」

Q-16 規則17条
プレーヤーAとBには甲、CとDには乙というキャディが付きま。プレーヤーAが旗竿を立てたままストロークをした時に、ストローク前に、人が付き添っていなかった旗竿をキャディがあわてて走り寄って、その旗竿を取り除いてしまいました。

【質問1】
そのキャディが乙(CとDの共用のキャディ)だった場合、CとDは共にR17-2bの違反となり、2打の罰が課せられますか？

【質問2】
定義8に「共用のキャディは球に問題が生じたときその持主のキャディとなり…」とありますが、上記の状況は「球に問題が生じたとき」に当たりますか？もし、そうでないとすると、

【質問3】
そのキャディが甲(AとBの共用のキャディ)だった場合、AはR17-1の違反となり、2打の罰が課せられますが、同伴競技者のBもR17-2bにより2打の罰が課せられますか？

【質問4】
プレーの状況は同じで、キャディが1人(4人の共用のキャディ)の場合、プレーヤーAにはR17-1、同伴競技者のB、C、DにはR17-2bが適用され、全員に2打の罰が課せられますか？

【質問5】
「ストローク前に旗竿に人が付き添っていなかった場合は、その球が動いている間は、付き添ったり、または取り除いたりしてはならない」とありますが、ストローク前に旗竿の近くにいなかった人が、球が動き始めてから、走り寄ってどこまで来た時に付き添った状態になるのでしょうか？
USGA裁定78-2の「旗竿に触れることができる近い所に立っていた者は、付き添っていたものと見なす」が適用されるのでしょうか？

A-16 規則17条(旗竿)に関する件
質問1の場合。キャディ乙の規則17条-2bの違反により雇主のCとDはストローク・プレーに於ては2打の罰が課せられる。

質問2の場合。キャディ乙はCとDのキャディであるので「球に問題が生じたとき」には該当しない。上記の如くCとDはキャディ乙の反則に対する罰である。規則6-4を参照。

質問3の場合。共用のキャディは球に問題が生じたとき、その球の持主のキャディとなるのでAは規則17-1の違反となり、ストローク・プレーでは2打の罰が課せられる。

質問4の場合。質問3の場合と同様で、問題が生じたときの球の持主であるAだけが課罰の対象となる

が、B、C、及びDは球に問題が生じていないので課罰の対象とならない。

質問5の場合。その旗竿に手の届く所まで接近していたならば、走り寄った行動は旗竿に「付き添いまたは取り除いた」と見做すべきである。

規則17-1の後段を同時に参照されたい。

Q-17 規則第5条第3項プレーに適しない球
ただし書きにある「マーカーまたは同伴競技者に前もって自己の意思を告げ相手マーカーまたは同伴競技者にその球を調べる機会を与えなければならない」とありますが、単にマーカーまたは同伴競技者が球を調べもせずに了解をした場合は、是認としてよいのか？

A-17 本項において、「プレーヤーは相手、マーカーまたは同伴競技者に球を調べる機会を与えなければならない」と定めていることは、プレーヤーに課した規定である。従って、プレーヤーが事前に自己の意思を相手、マーカーまたは同伴競技者に告げ、球を調べる機会を与えて球を拾い上げたならばプレーヤーは罰を課せられることはない。それに続いて、球を調べる機会を与えられた相手、マーカーあるいは同伴競技者が球を調べもせずに了承した場合、その行為がプレーヤーの利益に協力する意図があったか否かが裁定の基準となる。

ストローク・プレーにおいては、特定の競技者に利益を与えてはならないことが原則であるゆえ、球を調べる機会を与えられた者は球の確認を怠るべきではない。

Q-18 規則第6条第3項出発の時刻と組み合わせ

注書きにある、プレーヤーの出発時刻から5分以内にスタート地点にプレーの用意を整えて到着した場合の(1)出発時刻とは何をさすか。エントリー表の時刻か、競技当日の実際の時刻か(天候等によりスタート時刻が予定時刻より遅れることが多い)
(2)5分以内とすると、即ち予定の組がスタートし、グリーン近くに進入していると思われるが、その時は

1人でプレーをして行くのか。この時のマーカーはどうなるのか？

A-18 (1)規則3-3は、委員は、競技参加者の出発の時刻を定めておかなければならない事を述べており、予め定めた組合せ表の出発の時刻が競技当日の天候の都合等により変更される場合は、委員は改めて出発の時刻を定めなければならない。これは委員の任務である。

規則第6条は競技に出場するプレーヤーの責任事項を定めた条項である。従って、プレーヤーは委員の定めたあるいは認めた時刻に出発することが課せられた責任である。

(2)競技の条件に規則6-3の注を適用している場合、定められた時刻に出発するプレーヤーあるいは5分間以内に遅れてティに到着したプレーヤーのいずれかに単独のプレーヤーが生じたならば、委員はその時の状況に応じた処置をとらなければならないが、プレーヤーが単独でプレーしている間はマーカーを同伴させなければならない。

Q-19 規則第8条アドバイス
注書きにある個人競技を併催しないチーム競技においては、委員は……チームのキャプテン

またはコーチを選任することを許すことができますが、現在実施しているインタークラブ競技では、チーム毎に監督制（責任者として）を適用しており、個人表彰もありますので、ここに言うアドバイスの出ないこととなりますと、監督制を実施する意味がなくなりますので、個人競技とはどういう競技をさしますか？

A-19 個人競技とは個人の成績に対する表彰であり、ベスト・スコアに対する個人賞を含む団体競技が併催されると見做される。従って、チームのメンバーにアドバイスを与えることができる人物の選任を委員は許可してはならない。

Q-20 規則第10条第2項c 順番を間違えてプレーした場合
競技者たちは、競技失格となるとありますが、競技者たちとは誰をさすのか。

A-20 「競技者たち」とはグループ(組)の一人にアドバイスを与えるために、打順の変更で同意した場合の複数の競技者(当人と同意者)を指している。

プレースとリプレース

ことしのルール改正で第20条1項の球の拾い上げの項に「球のリプレースを要求している規則に従って拾い上げるときは、事前にその球の位置をマークしておかなければならない」ことが追加された。ところが新聞、雑誌に出た解説ではこれが「コース内のどこでも球を拾い上げるときは球の位置をマークしなければいけず」と書かれてしまったものだから後が大変、「障害物や修理地等からの救済のドロップをする時や、冬期ルールの6インチ・プレースをする時も、

すべてボールの位置をマークしなければいけずか？」と事務局に問い合わせが殺到した。
リプレースとは「元の位置に置き直す」ことだから、リプレースしなければならないケースは、グリーン上か、他のプレーの邪魔になる時、ボールを確認する時ぐらいに限られてしまう。全く人騒がせな解説が出たものでルール解説者には、解説をする前に「リプレース」の意味を解説しておく必要があったということである。



評判コース見て歩く記

(グリーンクラブ・千葉夷隅ゴルフコース)

こんな素晴らしいキャディさん見たことない 杉山通数



春夏秋冬ごとに目標をたてキャディに徹底させている。

5月21日、晴れ、風やや強し。約束の8時より半分ほど早めにコースに着く。支配人の加藤重正さんに案内されて、食堂でモーニングコーヒー。

「きょうは、評判のキャディさん取材にきました」

「遠いところを、ありがとうございます。なにも、わたし自身、ここが開場(54年8月)したときにゴルフをやり始めたようなわけで、なにもかも、ゼロからの出発でした」

「キャディ教育で、もっとも心をつかうところはなんですか」

「なんでもそうでしょうが、初心を忘れず、ということ。ちょっと慣れてくると、手抜きというか、キャディの本分をわきまえないで、基本的なことを省くわけです。例えばボールの行方をしっかり確認しない。キャディ同志の私語が多くなる。プレーヤーにサービスする、という基本姿勢が崩れるわけですね。そうした慣れからくる怠慢がいちばんこわいんです」

「たしかに、最近プレーヤーのほうも乱れていますが、キャディもそれにひと役かかるところがありますね」

「ですから、プレーヤーをリードしていくような、もっともそれが表面に出たらまずいですけども、そういう気持ちですね。それがないとまずいと思うわけです」

「なにしろ長時間、行動をともにするわけでも、プレーヤーとキャディ、お互いを守るべきは守り、一日楽しく過したいですよ」

「基本的にはお客さんに対して、どういうサービスをするのがキャディとしての役目なのか、それを常に頭に入れておかなければなりません」

モーニングコーヒーを飲みながら、そんなことを話し合っているうちに8時18分のスタート時間になる。われわれは3人連れだったので、加藤支配人が案内と一緒に回ってくれることになった。

「きょう1日、よろしくおねがいします」

1番ティで待機していたキャディさんが、まず、そう言ってティネイに頭を下げてくれた。胸に「関君子」という名札が縫いつけてある。

「杉山です、よろしくネ」

「クラブはウッドが2本、アイアンはバターを入れて10本ですね」

「ハイ」

「ボールは何をお使いになりますか」

「DDHの3番とアルタスの4番を交互に使おうかと思ってるの」

そんなふうな問答を、キャディさんはひとりひとりのプレーヤーとかわし、4人が同じボールを使っていないことを確かめたのち、改まった口調でこう言った。

「ラウンドはハーフ2時間10分以内で回るようにご協力下さい。打者以外の方は、危険防止と芝生保護のためにティグランドへはあがらないで下さい。バンカーはプレーヤーご自身でならし、グリーン上では足をひきずって傷をつけないようにお気をつけ下さい」



各ボールの説明は適切で、ポイントをふまえている。余計なことを言わないのがよい。

毅然たる態度と言ってよかった。といって冷然たる口調ではない。おたがいに楽しい一日を過しましょう、という気持がこめられていたから、われわれは異口同音に、

「ハイ」

ボールの見方がよかった。プレーヤーの邪魔にならないところに“陣取って”それこそ目を皿のようにして打球を追う。金輪際、見失しなうものか、という眼つきだった。

「ハイ、右のラフ、松の木の左横へ行きました」

4人のプレーヤーのボールをそうやって確認する。たまさか、同じような方向へ飛ばしたり、ラインのホールで落下地点が確認できないような場合は、いち早く“現場”へ走り、

「ハイ、これがDDHの3番です。こっちはアルタスの6番です。あのラフにかかっているのはマックスの1番、バンカーのはレクスターの4番です」

それは見事な“仕事ぶり”だった。こんなキャディさん、いままでに見たことない。

ショートホールではこんなことがあった。先行組が全員グリーンに乗せたところで、手があがり、われわれに“打て”の合図をした。そこで順に打っていったのだが、打つたびにキャディさんは右手を上げたり、左手を上げたりする。ときには真直ぐ頭上に伸ばしたりする。その都度、先行組のキャディさんが右へ行ったり、左へ行ったりする。つまり、キャディ同志でボールの行方を確認し合っているのだ。一度、グリーン左の崖下にボールを落してしまった。ティからはその落下地点が確認できない。すると、先行組のキャディさんは、自分の“お客さん”のプレーに差しつかえないときを見計って、



ボールの落下地点へ迅速に移動する。球の確認もテキパキとして、気持がいい。

「あの木の右側、3メートルくらいのところにあります」

と、ボールのありかを教えてくれた。それは正確な指示だった。“あそこらへんにあるはずよ”なんて、アイマイなものではない。そのキャディ同志の連係プレーは、プロトーナメントで見かけるフォアキャディより、見事で適切だった。

こんなこともあった。われわれの組のひとりか、ラフを通り越して、管理道路の向うフチへ打ってしまったときだ。

「この場合、ドロップできますが、その場所はここになります」

とドロップエリアを明確に指示する。もちろん、われわれもその場に居合せていたから、その処置に立合ったのだが、キャディさんの指示は適切なものだった。その毅然たる態度がまた、気持ちよかった。



← ショートホールのティグラウンド。その他フェアウェイやラフまでもティボット跡に目土をする。

「打者以外の方はティグラウンドにあがらないで下さい」



信頼感があるのである。

そんなふうにして、1ラウンドの予定を、あまりの気持の良さでワンハーフもプレーしてしまったのだが、あとから考えてみると、その日いちにち、ずいぶんお行儀のよいゴルフが出来たように思った。

「打者以外の方はティグラウンドにあがらないで下さい」

スタート前にそう言われ、そのことを実行してみると、まことに工合がよい。見るべきところで、お行儀よく見てくれるので、ショットに集中できるのだ。

夷隅コースには現在、53名のハウスキャディと、23名の土日祭特別キャディがいるという。合せて76名、キャディフィにランクづけはしてない。つまり全員が“A”なのである。Aの訓練をしてある、と言ってよいだろう。天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず、といったオモムキである。

いったい、どういう訓練をしているのだろうか。ホールアウト後、そのことを訊く。加藤支配人は25頁に及ぶ「キャディ業務マニュアル」のコピーを繰りながら、熱心に説明してくれた。その内容を全て紹介するには紙数が足りないのだが、第1章は「キャディ業務の基本的な心得」となっている。

1. てきぱきとした迅速な行動
2. 明るい笑顔
3. まごころのこもった親切な心
4. 「親切」と「反省」の心
5. 「創意」と「工夫」と「チームワーク」への努力
6. 絶えず初心を忘れずに行動する

書いてしまえば、なんだ、そんなことかと思われようが、実行となるとどうだろう。プレーしたあとだけに、この6つが見事に実行されていたことが実感としてうけとめられた。同コースでは「キャディに関するアンケート調査」を来場者に実施している。男性の係員がキャディマスター室の外にいて、

「お疲れさまでした。本日は快適にプレイいただけましたでしょうか。当コースではキャディの技量向上をはかるため、アンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願い申し上げます」

という挨拶ではじまるアンケート用紙をひとりひとりに手渡している。アンケートは11項目でそれぞれ、優良不可の4段階に○をつけるようになっていいる。その集計によると、58年度の場合で、75.6%が優、23%が良に○をつけている。可と不可は合せても1.5にみたない。つまり、全員が“A”なのである。

マニュアルの一部を紹介しておこう。ステップ、行動、言葉、備考の4項に整理されており、例えばスタートホールではこうなっている。

ステップ=ティグラウンドで（スタートホール）
行動=①前の組がティショットをしている場合はカートを5m手前で止める。②お客様が見えたら明るい笑顔ではっきりと挨拶をする。③クラブ確



ゴルフのことおシエテクレタ関君子さん

認をする。言葉=「お早ようございます。〇〇番のキャディです。よろしくお願ひいたします」「クラブ確認をお願いいたします」「〇〇様、ウッド〇本、アイアンはバターを含めて〇本ですな」「お預り致します」ステップ=ティグラウンド。行動=打者がアドレスに入ったら静かにするとともに動かない。他のプレーヤーから話しかけられたらお詫びして、打ち終わってから応待する。言葉=「済みません。お静かにおねがいます」

こうしたマニュアルが「客迎え」から「客送り」、つまり朝から夕方まで何10項目と細分されてコピーしてあり、それをキャディひとりひとり持っている。

そして、新しいひとは3ヵ月に1回、中堅以上は6ヵ月に1回、いうならば「原点確認講習会」を行っている。一年に1回は全員が合宿して「基礎教育」を受ける。加藤支配人は言う。

「合宿ではキャディひとりひとりに自分なりの目標をたてさせるんです。マニュアルののっとなって教育したうえに、自分の目標をつくらせることによって自覚をもたせるわけです。問題は、つねに初心にかえって、フレッシュなところでキャディ業務がまっとうできるようにさせることではないでしょうか」

別に褒賞制度は設けてないという。

「褒賞というのは妬みをかきやすくてすし、ときに色眼鏡でひとを評価しがちになりますから」

いずれにしても、ともすればキャディの質の低下がウンスンされている昨今のことゆえ、夷隅コースのやり方は学ぶべき点が多々あるように思われる。正直に言って、わたしはキャディさんにゴルフの再教育を受けたような気がしたものである。

実施要項

昭和59年度(第49回) 日本オープンゴルフ選手権第1次予選 実施要項

日本ゴルフ協会 〒100 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606 TEL.03(215)0003

予選競技は日本ゴルフ協会を代行して各地区連盟が実施する。

開催期日及びコース

北海道・東北 8月20日(明) 東松山カントリークラブ
 ・関東 8月21日(火) グリーンクラブ千葉東陽ゴルフコース
 中部 8月24日(金) 片山津ゴルフ倶楽部
 関西 8月22日(水) 枚方カントリークラブ
 中国・四国・九州 8月20日(明) 下関ゴルフクラブ

1. **ゴルフ規則** 日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技特別規則を適用する。

2. **プレーの条件** 1日18ホール・ストローク・プレーのスコアにより決定する。
 最終予選の出場資格者を約70名とし、参加者数に比例して最終予選進出者を決定する。

3. **参加資格** 下記のプレーヤーに対し本第1次予選競技参加資格を認める。
 (1)加盟クラブの会員でJGAハンディキャップ5までの者。
 (2)784全日本パブリック上位10位までの者。
 (3)83日本学生選手権上位10位までの者。

4. **参加申込** (4)84各地区ジュニア選手権優勝者。
 (5)日本プロゴルフ協会会員。
 (6)外国人プロ選手。
 (7)JGA特別承認者。
 参加希望者は、所定の申込書に記入し下記の方法により提出しなければならない。
 (1)第3項(1)に該当する選手は所属クラブに申込み、クラブより当該地区連盟に申し込むこと。
 (2)第3項(5)に該当する選手は日本プロ協会がとり纏め、一括してプロ協会よりその参加選手の居住地の当該地区連盟に申し込むこと。
 (3)第3項(2)、(3)、(4)、(6)、(7)は居住地の当該地区連盟に申し込むこと。
 5. **申込締切日** 昭和59年7月20日(金)正午
 締切後は事由の如何を問わず受理しない。
 6. **参加料** 20,000円とする。
 (注)締切後の参加取消しの場合は参加料は返金しない。
 7. **参加章** 記念品(ホーム・プレート)

昭和59年度(第35回) 関東オープンゴルフ選手権競技 実施規定

主催 関東ゴルフ連盟 後援 日本放送協会(NHK) 協賛 穴戸国際カントリークラブ・日本ダンロップ

1. **開催日** 昭和59年8月30日(水)、31日(金)、9月1日(土)、2日(日)

2. **競技場** 穴戸国際カントリークラブ
 茨城県西茨城郡友部町小泉1340
 TEL.02967-7-2141

3. **競技方法** (1)72ホール・ストローク・プレー
 8月30日(水) 第1ラウンド
 18ホール・ストローク・プレー
 8月31日(金) 第2ラウンド
 18ホール・ストローク・プレー
 (2)36ホールを終り、上位60位まで(アマチュアを含む)のものが、後半36ホールに進む。
 但し、アマチュアのみ成績第3位までのものは60位以外であっても後半36ホールの出場を認める。
 9月1日(土) 第3ラウンド
 18ホール・ストローク・プレー
 9月2日(日) 第4ラウンド
 18ホール・ストローク・プレー
 (3)72ホールを終り、プロ、アマともに第1位にタイ・スコアを生じたときは、即日委員の指定するホールにお

いてサドン・デス方式によりプレー・オフを行い、第1位を決める。
 (テレビ放送) 第3日、第4日 NHK実況放送
 4. **参加資格** アマチュア：
 関東アマチュアゴルフ選手権競技成績40位まで
 前年度アジアアマチュア選手権日本代表選手(関東在住者)
 プロフェッショナル：
 関東オープンゴルフ選手権歴代チャンピオン
 関東オープンゴルフ選手権前年度15位まで
 関東プロゴルフ協会選考85名
 KGA特別承認者
 5. **賞品** 優勝
 関東オープン・チャンピオン杯 NHK杯
 アマチュア
 ベスト・アマチュア KGA賞 NHK杯
 第2、第3位 KGA賞
 予選入選賞 KGA賞

実施要項

6. プロ賞金 総額30,000,000円 (この順位はアマチュアを除く)

順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金	順位	賞金
優勝	6,000,000円	16位	450,000円	31位	270,000円	46位	170,000円
2位	3,000,000	17位	430,000	32位	260,000	47位	160,000
3位	1,800,000	18位	410,000	33位	250,000	48位	160,000
4位	1,200,000	19位	390,000	34位	240,000	49位	150,000
5位	1,000,000	20位	380,000	35位	230,000	50位	150,000
6位	900,000	21位	370,000	36位	220,000	51位	140,000
7位	800,000	22位	360,000	37位	210,000	52位	140,000
8位	750,000	23位	350,000	38位	210,000	53位	130,000
9位	700,000	24位	340,000	39位	200,000	54位	130,000
10位	650,000	25位	330,000	40位	200,000	55位	120,000
11位	600,000	26位	320,000	41位	190,000	56位	120,000
12位	570,000	27位	310,000	42位	190,000	57位	110,000
13位	540,000	28位	300,000	43位	180,000	58位	110,000
14位	510,000	29位	290,000	44位	180,000	59位	100,000
15位	480,000	30位	280,000	45位	170,000	60位	100,000
						以下予選通過者	100,000
						合計	30,000,000

7. **参加申込方法** 競技参加料を添え加盟クラブまたは所属団体を通じ、締切期日までにKGAに申込むこと。
 8. **競技参加料** KGA加盟クラブ選手20,000円KGA加盟クラブ以外の選手25,000円但し、締切以後の参加取消しの場合は参加料を返

金しない。
 9. **申込締切日** 昭和59年7月20日(金)
 締切後は事由の如何を問わず受付けない。
 10. **指定練習日** 昭和59年8月27日(日)、28日(火)、29日(水)但し、29日の練習ラウンドはアウト・イン共正午をもってスタートを締切る。

昭和59年度(第5回) 関東ジュニアゴルフ選手権競技 実施規定

主催：関東ゴルフ連盟 スポーツニッポン新聞社 関東高等学校ゴルフ連盟

◎ **予選期日** 昭和59年7月24日(火)、25日(水)、26日(木) 27日(金)=予備日
開催場所 ノーザンカントリークラブ・錦ヶ原ゴルフ場(桜、なの花コース)
 埼玉県大宮市塚本町2-22-1
 TEL.0486(24)5651
 1. **競技規則** 日本ゴルフ協会競技規則および本競技特別規則
 2. **競技の条件** 各クラスとも18ホール・ストローク・プレー
 予選通過者数は各クラス下記の通りと定め、予選会場参加者数に比例して各予選の子選通過者数を決定する。
 男子の部=25日(木) } 150人
 または26日(木) }
 中学男子の部=24日(水) 20位
 女子の部=24日(水) 12位
 3. **参加資格** (1)競技当日年齢満18歳までの全日制中・高校生で関東地区在住者(静岡・長野以東新潟以西)
 (2)主催者の特別承認者

4. **賞品** 予選メダリスト
 5. **参加料** 5,000円(予選、決勝を通じ)
 6. **プレーの費用** 指定練習日、及び競技当日はメンバーフィー
 7. **参加申込** 所定の参加申込書に在学証明書、及び参加料を添えて現金書留で直接スポニチ事業部に申込むこと。
 高学連加盟校の選手の在学証明書は所定の用紙に連名で一括し、申込書(個人別)と一緒にまとめて郵送すること。
 申込先
 〒100 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
 スポーツニッポン新聞東京本社
 事業部 ジュニアゴルフ係
 TEL.03(213)3360
 8. **申込締切日** 昭和59年6月30日(土)午後5時 必着
 締切以後は理由の如何を問わず受付けない。締切以後に出場を取止めた場合でも参加料は返金しません。
 9. **指定練習日** 7月20日、23日のいずれか一日。
 必ず指定練習券を持参のこと。
 10. **問合せ** 関東ゴルフ連盟 TEL.03(215)0511
 スポニチ事業部 TEL.03(213)3360

実施要項

- ◎決勝
期日 昭和59年8月1日休、2日休
開催場所 武蔵カントリークラブ・笹井コース
埼玉県狭山市笹井412
TEL.0429(53)2101
- 1.競技規則 日本ゴルフ協会競技規則および本競技特別規則
- 2.競技の条件 <男子>
54ホール・ストローク・プレー
8月1日休 18ホール・ストローク・プレー。18ホール終了後、80位同位のものまでが決勝に出場。
8月2日休 36ホール・ストローク・プレー
<中学男子>
8月2日休 18ホール・ストローク・プレー
<女子>
8月2日休 18ホール・ストローク・プレー
※所定のホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於てサドン・デス方式のプレー・オフにより第1位を決定する。
- 3.参加資格 (1)予選通過者
(2)83関東ジュニアゴルフ選手権男子の部上位5位までの者及び中学・女子の部優勝者
(3)主催者が特別に承認した者
- 4.賞 男子の部
優勝者 レプリカ、メダル、賞状
2～5位 メダル及び賞状
全員 予選通過記念品
中学男子の部
優勝者 レプリカ、メダル、賞状
2～3位 メダル及び賞状
全員 予選通過記念品
女子の部
優勝者 レプリカ、メダル、賞状
2～3位 メダル及び賞状
全員 予選通過記念品
- 5.参加料 シード選手及び主催者特別承認のみ5,000円
- 6.プレーの費用 指定練習日及び競技当日はメンバー・フィー
- 7.指定練習日 昭和59年7月27日休・31日休
- 8.その他 本大会の上位者は8月8日休、9日休霞ヶ関カントリー倶楽部において開催される、第28回日本ジュニアゴルフ選手権競技に参加できます。参加人数は各地区の予選参加人数に応じて配分されます。

昭和59年度(第31回) 関東シニアゴルフ選手権競技 実施規定

関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606 TEL.03(215)0511

- ◎予選
期日 昭和59年9月6日休第1ブロック
7日休第2ブロック
開催場所 第1ブロック 芙蓉カントリー倶楽部
神奈川県藤沢市大庭2320
TEL.0466(34)8111
第2ブロック オークヒルズカントリー倶楽部
千葉県香取郡栗源町
TEL.047875-3131
- 1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
- 2.競技の条件 18ホール・ストローク・プレーを行い、各ブロック上位60位までが9月25日から2日間、龍ヶ崎カントリー倶楽部で開催する決勝競技出場資格を得る。但し、各ブロック予選通過者数は参加者の数によって変更することがある。
- 3.参加資格 (1)加盟クラブ会員で競技当日満60歳以上でJGAハンディキャップ16まで。
但し未実施クラブは下記計算により14まで
(2)KGA特別承認者
- 4.賞 メダリスト賞
- 5.参加料 予選、決勝を通じ20,000円
参加料はクラブで取りまとめ「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」に振込のこと。
(注) 締切以後の参加取消の場合は、参加料を返金しない。
- 6.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。
- 7.申込締切日 昭和59年8月10日休
締切以後は理由の如何を問わず受付けない。
- 8.指定練習日 第1ブロック 8月30日、31日、9月4日
第2ブロック 8月30日、31日、9月4日
以上のうち1人1回限り会員並み扱いとする。何れの場合も予めスタート時間を予約すること。
- (参考)
JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。

実施要項

- ◎決勝
期日 昭和59年9月25日休、26日休
開催場所 龍ヶ崎カントリー倶楽部
茨城県龍ヶ崎市泉町2080
TEL.02976(2)2611
- 1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
- 2.プレーの条件 9月25日休 第1ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
9月26日休 第2ラウンド
18ホール・ストローク・プレー
- 3.タイの決定 36ホールを終り、第1位がタイの場合は、委員の指定するホールに於て、サドン・デス方式のプレー・オフにより第1位を決定する。
- 4.参加資格 (1)予選通過者(各ブロック60位)
(2)前年度関東シニア10位
- 5.賞 優勝者 KGA杯(レプリカ)
2位 菊皿
3位 "
- 4位 "
5位 "
(全員に予選通過記念品)
- 6.参加料 20,000円(但し、決勝シード選手のみ)
(注) 締切以後の参加取消の場合は参加料を返金しない。
- 7.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。
申し込みを受けたクラブは所定の申込書に参加料を添えて連盟に申し込むこと。
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込のこと。
- 8.申込締切日 昭和59年9月8日休
締切以後は理由の如何を問わず受付けない。
- 9.指定練習日 9月17日休、21日休
予めスタート時間を予約すること。

昭和59年度(第10回) 関東グランド・シニアゴルフ選手権競技 実施規定

関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル606 TEL.03(215)0511

- 期日 昭和59年10月23日休
開催場所 程ヶ谷カントリー倶楽部
神奈川県横浜市旭区上川井町1324
TEL.045(921)0115
- 1.競技規則 日本ゴルフ協会ゴルフ規則、および本競技特別規則を適用する。
- 2.プレーの条件 10月23日休 18ホール・ストローク・プレー
- 3.タイの決定 18ホールを終り、第1位がタイの場合は委員の指定するホールに於て即日サドン・デスのプレー・オフを行い、第1位を決定する。
- 4.参加資格 加盟クラブ会員で競技当日数え年70歳以上で、JGAハンディキャップ22まで。但し未実施クラブは下記計算により20まで。
(注) JGAハンディキャップを持っていない方は、所定の申請書に1年以内のベストカード10枚を提出して出場資格を取得して下さい。
- 5.賞 優勝者 KGA杯(レプリカ)
2位 菊皿
3位 "
4位 "
5位 "
(全員に参加記念品)
- 6.参加料 15,000円
(注) 締切以後の参加取消の場合は参加料を返金しない。
- 7.申込み方法 参加希望者は所属クラブに参加料を添えて申込むこと。
申し込みを受けたクラブは所定の用紙に参加料を添え、連盟に申し込むこと。
参加料は「三和銀行東京営業部関東ゴルフ連盟普通預金口座No.380」へ振込のこと。
- 8.申込締切日 昭和59年9月25日休
締切以後は理由の如何を問わず受付けない。

理事会・委員会

加盟倶楽部殿

昭和59年6月6日

関東ゴルフ連盟

理事長 細川 護 貞

59年度第3回理事会議事録

59年度第3回理事会討議事項を下記の通りお知らせします。

日 時 昭和59年6月6日(木)正午

場 所 ホテルニューオータニ

出席者 細川理事長、武内副理事長、福田彰、福田富市、古賀、木村、古茶、小宮山、松浦、松野、齋藤、佐藤各常務理事、青木、浜口、金丸、勝又、勝山、北村、小林金太郎、森井、佐久目、山崎、吉沢、内田各理事、及び岩本監事

決 議 事 項

1. 入会資格審査基準の件

細川理事長より入会審査委員会で検討した入会の審査規程を次の通り発表した。

①原則として開場1年を経過したクラブであること。

②他クラブの推薦については

同一県内の連盟加盟クラブ2クラブの推薦を要し、うち1クラブは連盟理事選出クラブであること。

なお推薦した理事は当審査委員会に出席して入会希望クラブの説明をしていただく。

③会員組織であること

会員名簿を必ず提出させること。

④現地調査をすること

入会希望クラブは委員会より人を派遣し、現地調査をすること。

以上の説明があり、一部よりもっと厳しくすべきだとの意見も出されたが、今後も委員会で検討を続けることを約し、全員異議なくこの審査基準を承認可決した。

なお、入会申請のあった2クラブについて委員会より説明と調査報告が行なわれ、次の2クラブの加盟が承認された。

美里ゴルフ倶楽部 佐野ゴルフクラブ

2. 60年度主催競技開催コースの件

コース選定委員会より5月28日の同委員会にて選定した明年度連盟主催の決勝競技開催コースについて

5月21日～23日 関東アマチュア決勝 戸塚(交渉中)

5月29日～30日 関東女子決勝 高麗川

7月1日 クラブ対抗決勝 鶴舞
7月23日～25日 関東ジュニア予選 ノーザン錦ヶ原
7月31日～8月1日 関東ジュニア決勝 武蔵
9月25日～26日 関東シニア決勝 千代田
9月5日～8日 関東オープン 川越、または
中山(検討中)

10月23日 関東グランド・シニア 我孫子(交渉中)
との説明があり、全員これを了承。

なお、日本ゴルフ協会主催で関東地区における開催コースは

4月 ダンロップオープン 茨城

7月 日本女子オープン 袖ヶ浦

8月 日本ジュニア 霞ヶ関

8月 日本学生 飯 能

9月 日本アマチュア 大 洗

を内定している旨、説明があり、これも異議なく了承した。

3. 関東オープン準備状況

関東オープンの準備状況について武内副委員長より開催コースの熱心なご努力により前売券の販売、およびパンフレットその他の広告募集も今までになく順調に進んでおり、この6月19日には現地での最後の打合せを開き、コースの仕上がり状況を見る旨の報告があり、続いて戸塚国際の山崎理事より、コースはこの冬の大雪で例年より芝の芽立ちが悪く、北斜面の一部を張替えたが、大会には十分に間に合うこと、および資金面では1億1千万円を集めるメドがつかつたのでご安心願いたいとあいさつがあり、全員これを了承した。

続いて武内副委員長より、共同通信社と日本プロゴルフ協会の連名で、プロの参加するオープン競技に共同通信のコンピュータを利用して成績速報のサービスをさせてほしいとの申し入れがあり、この点は問題はないが、合わせて競技用スコア・カードにバット数の記入欄を設けてほしいとの申し入れがあり、これに関してご意見をお聞きしたいと踏ったところ、公式競技のスコアにバット数の記入を義務づけるのはおかしきという意見が強く、結局、競技委員長がもう一度両者と話し合いをすることを決めた。

4. 各委員会報告の件

①競技委員会

武内委員長より、競技委員会の方針として従来の連盟競技委員を主体とした運営をやめ、開催クラブの競技委員を主体とし、連盟委員はその指導に当るようにすること、及び競技委員を4名ずつの6班(茨城班、千葉班、埼玉班、東京班、神奈川班、静岡班)に分け、各班別に競技を分担することとし、4名の副委員長は班別にこだわらず、随時お願いするとの説明があったが、班が別別の名称ではまぎらわしいとの意見が出され、結局、茨城班から順に1班から6班までと名称の変更を決めた。
また後援競技の取扱いについて、今まで委員長以下2～3名を派遣していたが、今後は特別の場合を除いて委員の派遣をやめることとし、競技開催クラブの委員会にお願いし委員長以下委員の方々に運営を担当していただくことに決めたとの説明があり、全員異議なくこれを了承した。

②広報委員会

木村委員長より、4月5日の広報委員会においてKGAニュースの編集について討議した結果、従来の方針は踏襲するもの、

イ、基本的には24ページを建前とすること。

ロ、活字は一定の大きさを保つこと。

ハ、スペア記事を用意しておくこと。

ニ、読んで参考になる読物を入れること。

ホ、表紙用写真は年間のテーマを決めて撮っておくこと。

等を決めた旨、報告があり、全員異議なくこれを了承した。

③グリーン委員会

古賀委員長より4月10日に行なわれたグリーン研究講習会は樹木や樹林の基本がよくわかり、好評だったこと、及び次回の研究議題については現場のグリーンキーパーの意見も取入れ、農業気象などの基礎的なものを取上げる予定であるとの報告があった。

④ハンディキャップ委員会

福田委員長より、4月11日の委員会において各クラブがJGAハンディキャップの実施について未だ迷っている面もあるので、今後各県ごとに

そういったクラブをピックアップし、県委員が話し合って指導する方針をとることにしたこと、及び、加盟各クラブのハンディキャップ委員会の内規を集め、これを分析して、クラブ内規の標準案を作成し、指導方法を基本的に統一したいと説明があり、これも全員了承した。

⑤税対策委員会

松浦副委員長より、明年度は固定資産税の改訂期に当るので、委員会としては国、県、市町村の三方から運動し、陳情活動をくりひろげること、また公式戦非課税の運動も展開しているが、これに対して学生の活動に対する減税の回答があり、すべてに財源不足となっている現在、自治省としては最大限の譲歩と思われること、娯楽施設利用税については昨年度に2,000円増税の話が出たが、これは自民党税調の方で止めて実現しなかったものの、今後も各方面から働きかけを行いたいと説明があった。

なおゴルフ場会計の税務取扱いについての質疑もあり、委員に詳しい方もいるのでそのマニュアルを作成するようにしたいとの発言もあり、全員異議なくこれを了承した。

⑥ジュニア委員会

齋藤委員長より、春休みを利用して行なわれた第6回ジュニア教室の報告があり、続いて夏休みには恒例となったノーザン錦ヶ原にての夏季ジュニア初心者教室のほか今年2泊3日の教室に代る日帰りの教室を8月20日は桜ヶ丘カントリークラブ、8月27日は東京ゴルフ倶楽部において開催する予定で、コースに対する謝礼金等については今後コース側と折衝することになっている旨の報告があった。

⑦月例委員会

松野委員長より、委員会として特別な報告事項はないが、現在、60年度の月例日程を作成中であり、開催コースに打診中であるとの報告があった。

5. 退会クラブの件

退会申請のあったラフォーレ修善寺について、その退会を承認した。これで連盟の加盟クラブ総数は340クラブとなった。

次回理事会 9月19日(木)正午 於ホテルニューオータニ
以上

月例競技成績表

(4月月例)

参加68名 4月2日(月) 於：鷹之台カントリー倶楽部
(男子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	38	35	73
2	森 茂則	セントラル	36	40	76
3	大沢 正春	鷹之台	39	38	77
3	佐久間 徹二	袖ヶ浦	39	38	77
3	高安 信行	セントラル	39	38	77
(以上入賞)					
6	加藤 清司	府中	37	41	78
6	北村 昭夫	東京国際	37	41	78
6	田代 昌義	新千葉	39	39	78
6	中野 弘治	芙蓉	38	40	78
10	松田 守功	習志野	41	38	79
10	山田 勲	東千葉	42	37	79
12	岡田 光正	嵐山	42	38	80
12	小川 透	岡部チサン	43	37	80
12	加藤 政義	浅見	39	41	80
12	鈴木 軍治	袖ヶ浦	42	38	80
12	田中 浩	岡部チサン	43	37	80
12	内藤 正幸	桜ヶ丘	40	40	80
12	西谷 晃	新千葉	42	38	80
19	柿原 恒	府中	40	41	81
19	桜本 隆	南総	41	40	81
19	高梨 信一	桜	38	43	81
19	松岡 和歳	東京よみうり	39	42	81
23	石井 重次	東京国際	42	40	82
23	今井 浩	青楠	41	41	82
23	河野 安男	江戸崎	39	43	82
23	額賀 義朗	船橋	43	39	82

コース・レート 73.4

参加67名 4月20日(金) 於：桜ヶ丘カントリークラブ
(女子)

順位	氏名	クラブ	アウト	イン	合計
1	金田 正子	成城大	38	41	79
1	吉沢 キミ子	セントラル	39	40	79
(以上入賞)					
3	中田 朱美	袖ヶ浦	40	40	80
3	渡辺 恵子	高根	39	41	80
5	高橋 良江	東京国際	43	39	82
5	村田 トシ子	鎌ヶ谷	41	41	82
7	喜多 麻子	茅ヶ崎	39	44	83
8	佐藤 奈保子	日大	42	42	84
8	田中 成美	成城大	39	45	84
8	谷 弘恵	藤岡	43	41	84

コース・レート 70.0

*吉沢キミ子、金田正子氏のタイスコアによるプレー・オフは金田氏棄権の為、吉沢氏優勝

お知らせ

理事長変更のお知らせ

越生ゴルフクラブ (新) 渡辺 正夫
(旧) 滝 清吉
松本カントリークラブ (新) 小穴 正徳
(旧) 和合 正治
箱根カントリー倶楽部 (新) 安西 浩
(旧) 永野 重雄
新里カントリー倶楽部 (新) 久村 諒道
(旧) 大政 満

クラブ代表者変更追加のお知らせ

クラブ名	クラブ代表者
府中カントリークラブ	(新)林 恭雄 (新)片山 元 (旧)後藤 岩男 (旧)林 恭雄
オーク・ヒルズ カントリークラブ	松本 誠也 町田 直
赤城国際 カントリークラブ	前田 文雄 (新)田村美喜雄 (旧)山内直美
天城につかつ ゴルフ倶楽部	根本 博二 (新)市瀬輝男
越生ゴルフクラブ	(新)渡辺 正夫 錦織 正 (旧)滝 清吉
関東国際 カントリークラブ	長澤 泰治 (新)山口定男 (旧)湯浅 敏義
レインポー カントリー倶楽部	(新)石井 敬三 手島 文雄 (旧)木村 睦男
新里カントリー倶楽部	川西 浄三 (新)久村 諒道 (旧)石橋 進
佐野ゴルフクラブ	篠崎 勝宏 篠崎 暢宏

加盟クラブコース・レート一覧表一部訂正の件

新水戸カントリークラブ

中・南コース Bent・Reg (新) 64.8
(旧) 69.8

昭和59年6月25日 発行KGAニュースNo.7

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 TEL.(03)215-0511 発行人 細川 護 貞 編集 広報委員会